

来聴歓迎・参加無料

「学習する組織による安全文化醸成」 最終年度総括ワークショップ

主催： 平成20年度原子力安全基盤調査研究「学習する組織」による安全文化醸成に
関する研究プロジェクト

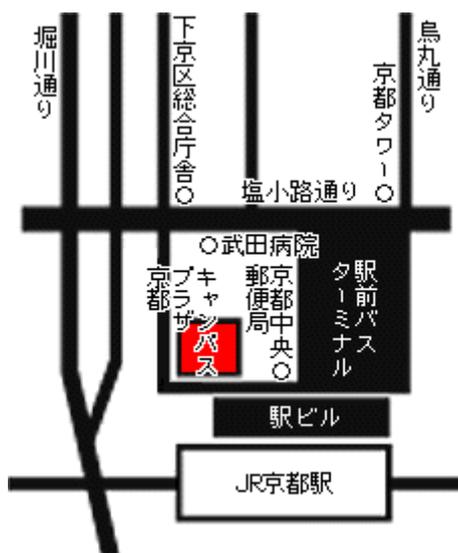
共催： 特定非営利活動法人シンビオ社会研究会

日時： 平成20年12月12日（金）10:00～17:00

会場： キャンパスプラザ京都（TEL 075-353-9111）

京都市下京区西洞院通塩小路下ル

JR 京都駅ビル駐車場西側・京都中央郵便局西側



趣旨： 現代の企業経営にとって、種々の経営環境の「不確定性」は避けて通れません。高度経済成長期のように右肩上がりの成長を想定し、企業の進むべき方向性を特定することはもはや困難になりました。また豊かな時代に育った若年層を中心に、価値観は多様化し、上意下達的なリーダーシップも受け入れられなくなってきています。このような企業環境においては、常に変化する環境に適応しながら組織の進むべき方向を探っていく組織、また、構成メンバーが主体的に進路の創造に関わることのできる組織、すなわち「学習する組織」への変容が求められるようになってきました。

本ワークショップでは、とくに原子力事業組織の重要課題である「安全文化醸成」に向けて如何にすれば「学習する組織」への変容を実現できるか、その具体的方途を現場に密着

しながら解明しようとする本プロジェクトの最終成果を発表して、皆様からの忌憚のないコメントをいただく場としたいと考えています。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

問い合わせ・参加申込先：

※ 参加申込は、懇親会参加・不参加もあわせて、12月8日までをお願いします。

京都大学大学院 人間・環境学研究科（杉万研究室）玉岡 愛 宛て

ai3@t02.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

TEL: 075-753-6729 FAX:075-753-6559

当日プログラム

10:00 開会の辞 研究代表者 杉万 俊夫（京都大学大学院 人間・環境学研究科）

第Ⅰ部報告 原子力発電組織の現場研究（10:15～12:00）

1. 「学習する組織」をめざした現場研究 福井 宏和（INSS）、杉万 俊夫（京都大学）
2. 原子力組織メンバーとの相互交流的現場調査 吉川 榮和・杉万 俊夫（京都大学）

昼食

招待講演（13:00～14:30） 「リスク社会における『存在論的安心』の可能性」

京都大学高等教育研究開発推進センター

京都大学大学院 人間・環境学研究科 吉田 純 氏

休憩

第Ⅱ部報告 内発的データベースの開発（14:45～16:30）

1. 内発的データベースの試作 作田 博（INSS）、石井 裕剛・藤野 秀則（京都大学）
2. 公開事例の分析による集団・組織要因の検討 丹羽 雄二（横浜国立大学）、日比野 愛子（京都大学）

全体討論（16:30～17:00）

司会： 杉万 俊夫（京都大学）

閉会の辞

18:00～ 懇親会（ワークショップ会場付近にて）